

夏場の移行期管理に カーブエイドNEO 購買重点品目をPR



庄原地域酪農振興会(林 智行会長)は、北島崇獣医師・写真左(物産バイオテック株式会社)を講師に招き「夏場の移行期飼養管理」と題した研修会を開催し、広酪は購買重点品目の「カーブエイドNEO」の推進と共に組合員の移行期管理の技術研修の支援を行った。

冒頭、林会長は「移行期は非常に重要な課題が多く、特に夏場に関しては疾病等が起こりやすい。その対策等を一つでも二つでも勉強して実践して欲しい」と挨拶した。



■夏場の乳牛に何が?

北島獣医師は「夏場に乳牛には何が起こっているか?」と参加者に問いかけ、汗をかきやすい首から肩にかけて風をあてて牛体を冷やす事、産乳量の三倍以上の飲水量が必要な事などの

基本的事項を切り口に夏場の機能的添加物としてのグリセリン、サッカロマイセス酵母、有機セレンの効能を説明された。

■グリセリンが有効

エネルギーが不足するのはブドウ糖が足りないからであり、以前はケトosis予防にプロピレングリコールを使用していたが法律で禁止になって以来、アルコールの一種である「グリセリン」がエネルギー源として有効とされ、グリセリンは嗜好性も良く、第一

胃内でPHに影響しない事なども優れた点であると話された。

■アシドーシスと酸化ストレス対策

アシドーシス対策にルーメン内環境の安定化と粗飼料消化の促進としてサッカロマイセス酵母が有効、セレン酵母は酸化作用があり細胞膜の保護により、生殖細胞、乳腺上皮細胞、免疫細胞が強化され、それらを混合した「カーブエイドNEO」が、エサ食いの落ちる移行期のケトosis予防、肝機能改善にも有効な商品とPRされた。

■カルシウムが大事

低Ca血症の説明ではエサ食いが落ちることでカルシウムの摂取量が落ちてルーメンの動きが悪くなるのか、カルシウムが足りないためルーメンの動きが悪くなり食欲が落ちるのか、何れにしても負の連鎖に陥らないためにも分娩前のカリ過剰に気をつけることと、分娩後にカルシウムの効率的な吸収を促すための制限給与について話された。

■カーブエイド利用者から質問

分娩後にカーブエイドを食べなくなることがあるが、その理由は?との質問があり、他地域でも、その様な声

が寄せられており、カーブエイドでは追いつけない重度なケトosisか、若しくは低Ca血症であるかの可能性が考えられる。牛が信号を出しているとも言え、早めに獣医師への相談が必要であるとのことだった。またエネルギー摂取のためにグリセリンではなく直接ブドウ糖を給与する方法はどうか?という質問に対しては、給与量にもよるがルーメンのPHを下げる結果につながる可能性があり、その点でグリセリンの安全性を勧められた。

■カーブエイドNEOのご利用を!

この度の研修会では多くの質問があり活発なものとなった。「カーブエイドNEO」は、受胎遅延から夏場に分娩が重なる事が多く、移行期のスムーズな立ち上がりを目指すため、広酪ではキャンペーンを企画している。その他、強肝剤の「快肝」、また低Ca血症予防に分娩前後の「カウライザーVⅢ」。PB商品のカルシウム「広酪リンカルペレット」を併せて推進していきたい。

カーブエイドの利用者からは「給与してからは立ち上がり等、調子が良い」という意見が多く、是非ともこの機会にご利用を検討下さい。